

視点・論点

3月定例会

3月定例会において、各常任委員会や特別委員会で議論となったものを各委員長がまとめたものです。

総務文教委員会

委員長 長能 文代

三月定例会に付託された十二議案は、すべて可決された。

「市民スポーツセンター使用料条例の一部改正」の議案では、五〇mプールの廃止をめぐって、公認プールの是非や関係団体への説明責任の問題、費用対効果などが議論され、当初の説明より修理代がかかることが審査の過程で明らかになり、その資料をもとに再度審査を行った。その結果、廃止は止むを得ないが、撤去にあたっては関係団体との協議を十分に行ってほしい等の意見が全員の総意として執行部に伝えられた。

また、職員定数条例の一部改



スポーツセンター50mプール

正」では、退職者が増え人件費は縮減されるので、正規職員の採用を増やすべきではないか。財政難の中、人件費の削減は必要だと思いが、全国の類似団体との比較では、最低の職員数になっているので、定数の削減は反対であるとの意見がだされた。

「特別会計条例の一部改正」では、高齢者に多大な負担増をおしつける「後期高齢者医療制度」の創設なので、容認できないとの反対意見が出された。以上の二議案については賛成五、反対一の賛成多数で可決された。

市民厚生委員会

委員長 塚本 良治

当委員会に付託された補正予算議案三件、議案十二件について審査し、全員が原案を可決することに賛成いたしております。

特筆すべきは「春日市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について」被保険者にとつてかなりの負担感があるので、制度の周知徹底が不可欠。一般の方たちに対しても十分に周知すべき。市民からの相談や問い合わせについては徹底して親切丁寧に対応していただき



春日西小学校の第2つばめクラブ

たい等の意見が出されました。

「春日市後期高齢者医療に関する条例の制定について」市民が混乱しないよう対象者に対して負担の軽減策など、十分な周知徹底をお願いしたいなどの意見が出されました。

「平成二十年度春日市介護保険事業特別会計予算について」先進地の事例を参考にしっかりとやっていただきたいなどの意見が出されました。「放課後児童クラブの指定管理者の指定について」現在の委託している特定非営利活動法人の過去実績を見て、最善であるとの説明を受けたが、次の更新時までには近隣の対象事業者を調査し、一業者だけでなくより多くの業者が参加できるようにした方がよいなどの意見が出されました。

地域建設委員会

委員長 松尾 嘉三

今期定例会において付託された議案は六件であった。「平成十九年度春日市下水道事業会計補正予算(第三号)については、今回の補正における収益減について、予算編成時に過大な使用料を見込んでいたため、今後厳正に取り組むよう意見が出されたが、全員賛成にて可決された。

「平成二十年度春日市下水道事業会計予算については、予算執行に当って、より慎重に行うこと、及び今後の長期下水道事業財政計画は、将来の人口推計を見据えて立案されるよう申し添え、全員賛成にて可決された。「市道路線の廃止については、徳州会病院の開発に伴う市道二級第七



須以北地区の市道2級第7号路線

号路線の廃止について、地元説明会、農業用水路の移設計画等に関し質疑がなされた。また、現地調査を行ない全員賛成にて承認された。市道路線の認定については、市道二級第二十四号路線の認定について、福岡市との連結部分での整合性の質疑がなされた。また、徳洲会病院の開発に伴う市道第一三二九号路線の認定については、工事期間の長期化が予想されるため、近隣への騒音、児童の交通安全に万全の配慮がなされるよう申し添え、全員賛成にて承認された。他の二議案についても、全員賛成にて可決及び同意された。

予算審査特別委員会

平成二十年度一般会計の歳入歳出、それぞれの総額は二百五十三億六千七百七十五万四千円となっている。

歳入関係では、三位一体の改革による影響が議論となり、普通交付税と臨時財政対策債の合計額が平成十五年度決算額と比較し、三十億三千八百九十三万円の減となっていることが注目された。また、歳入の根幹をなす市税に対しては、その見込み額

の積算の妥当性についての意見。過去の起債に対する交付税措置に対しては、国の措置額を疑問視する意見が出された。

また、財政調整基金、職員退職手当基金等からの繰入金も対前年度当初比で、十九・二パーセント増となっており、注目すべきところである。

歳出関係で議論が集中したのは、五〇mプールの解体、春日原小学校プレハブ校舎の解体移転費の積算根拠であった。

その他、家庭教育学級事業費の削減、壁面緑化業務、天田交差点改良、公園・スポーツ施設等用地の借地料、障害者の就労支援など多くの事業に対し質疑、意見が出された。

なお、今回はこれまで以上に、各項目、事業の細部に及ぶ審査を行ったため、審査時間が昨年の二倍の時間となった。



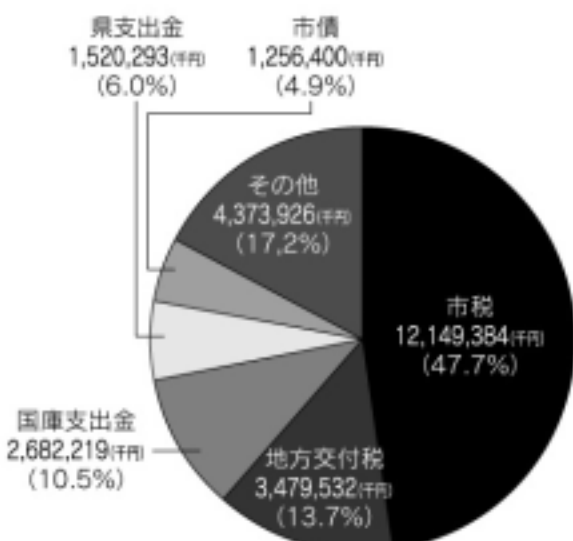
春日原小学校プレハブ校舎

平成20年度 一般会計予算

総額 254億6,175万4千円(対前年度比0.2%増)

歳入

区分	予算額(千円)	構成比(%)
市税	12,149,384	47.7
地方交付税	3,479,532	13.7
国庫支出金	2,682,219	10.5
県支出金	1,520,293	6.0
市債	1,256,400	4.9
その他	4,373,926	17.2
合計	25,461,754	100.0



歳出

区分	予算額(千円)	構成比(%)
議会費	251,048	1.0
総務費	2,577,673	10.1
民生費	9,565,611	37.5
教育費	3,306,704	13.0
公債費	3,962,734	15.6
土木費	1,889,010	7.4
衛生費	2,490,650	9.8
その他	1,418,324	5.6
合計	25,461,754	100.0

